令和２年度第１回清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体
報告・意見交換の内容について

別紙１

1.　報告

（１）　事前アンケートの結果

資料１の通りです。

（２）　移動困難者を地域で支える方法　調査レポート

資料２の通りです。前回協議体において高齢者の移動に関する課題の声が聞かれたことを受け、情報を整理しました。

（３）　きよせあったかマスク☆プロジェクトの報告

資料３の通りです。新型コロナウイルス感染症の拡大が高齢者の生活に様々な影響を及ぼしていることから、布マスク作成を通じて社会的な「役割」を獲得することを目指して、生活支援コーディネーターときよせボランティア・市民活動センターが連携してプロジェクトに取り組みました。約 150 人のボランティアが参加して約 5500 枚のマスクが完成し、市内の公共施設等において無料で配布しています。

（４）　各第２層協議体の取り組み

資料４の通りです。７月より第２層協議体が再開となっています。

2.　意見交換

（１）　報告事項に対するご意見やご質問について

上記報告事項に対するご意見やご質問について伺います。

（２）　コロナウイルス感染症拡大下における支え合いの取り組みについて

国立長寿医療研究センターと茨城大学によって、コロナウイルス感染症拡大前後で１週間あたりの身体活動量が約 60 分（約３割）減少したという調査結果が報告されました。災害時には生活不活発病（動かないことにより身体や頭の働きが低下する）になるリスクが高まると言われており、感染対策と生活不活発予防の両方を意識した取り組みが重要だと考えています。

こうした状況において、高齢者の介護予防や生活支援に関する取り組みで「取り組めるといい」「これを実施したほうがいい」と思うことがあれば教えてください。

（３）　その他

その他、第１層協議体の取組についてご意見があれば、自由にご記入ください。

3.　次回協議体の日程について

日　時：１１月５日（木）１５時３０分～１７時（予定）
場　所：生涯学習センター　７階多目的ホール

※配布資料

資料１　　事前アンケートの結果　集約表
資料２　　移動困難者を地域で支える方法　調査レポート
資料３　　社協だより、あったかマスク☆プロジェクトで作成したマスク
資料４　　各第２層協議体の取り組みについて
資料５　　令和元年度第３回清瀬市・介護予防サービス提供主体等協議体会議録